



国際交流員ウィルペルトのコラム

夏休み Sommerferien (ゾマフェーリエン)



7月は、多くの学生にとって夏休みの到来を意味します。ドイツの学校では、夏休みは6月から9月までのうち6～7週間、時期は連邦州によって異なります。私の住んでいたバーデン・ヴュルテンベルク州は、いつも7月末から九月初めまで、州の中で最後でした。

夏休みの時期が異なる理由は2つあります。

1つ目は交通渋滞を緩和するためです。ドイツでは、週3日以上働いている人は年に1回、連続10労働日の休日を取らなければならないという法律があります(専門家によると、仕事のストレスを一度完全に抜くためには、2週間の休息が必要だからです!)。それで、ほぼすべての家庭で、お母さんとお父さんがその2週間の休暇を子どもたちの学校の休みに合わせて同時にとって、家族全員が一緒に旅行に出かけます。そのようなときは、ホテルやFerienwohnung(フェリエンヴォーヌン・休暇を過ごすための集合住宅の1戸)を1週間単位で借りることが多く、土曜日が到着・出発日になるのが通常です。家族で2週間も旅行に行けば、持って行きたいものがたくさんありますよね。そのため、多くの家族は電車ではなく、車で行くことになります。結果、夏場の土曜日は、高速道路はいつも大混雑! ドイツ全土の学校が同じタイミングで夏休みだったら、完璧な大混乱になるでしょう。



アルプスのFerienhaus(休暇用集合住宅) ©Pixelteufel via Flickr CC BY 2.0

もう1つの理由は、経済的な要因です。ドイツの多くの地域は、観光収入で少なからず生活しています。北海、バルト海、アルプス、黒い森、ポーデン湖、ハルツ、リュネブルグヒース、モーゼル/フンスリュック、エルツゲビルゲ、フィヒテルゲビルゲ、シュペツァルト、フランケンスイス、アルゴイ、シュプレーヴァルトなど、人気の観光地はたくさんあります。連邦州の夏期休暇が分散することで、宿泊施設や観光サービスの需要も6月から9月の間に伸びます。

ドイツ人に最も人気のある休暇先は、海とアルプスの山々です。海はドイツの最北、アルプスは最南にあります。夏のドイツは日本ほど湿度が高くないので、夏は人気の季節です。中でも、山はとて居心地のいい所です。ドイツの他の地域では気温が40度に達することもあるのに対し、山間部では最高でも30度までしか上がらず、過ごしやすいです。



山に行くと、自然の中をハイキングします。朝はサンドイッチを作り、卵を固ゆでにし、リンゴやバナナを詰め、水筒に水を入れておいて、ハイキングコースに出発します。夕方、疲れても幸せな気持ちで帰ってきます。

ちなみに、オーストリアとの国境沿いのKleinwalsertal(クラインヴァルザータール)という地域には、中央ヨーロッパ深い岩窟峡谷、Breitachklamm(ブライタツハクラム)があります。



山では、ハイキングの他にもいろいろなことができます。山には、チーズやソーセージを扱う農場、自家製蜂蜜を扱う養蜂家、吹きガラスや宝石カットなどのアート工房などがあります。多くの企業が、お店で販売するだけではなく、製造工程の見学や体験をできる場も提供しています。



© Erlebnisberg Kappe

子どもに特に人気のあるアクティビティは、サマーボブスレーです。そりに乗って、特設のコースを高速で滑り降ります。

他のアクティビティがお好みなら、クライミング・フォレストやハイロープ・コース、ラフティング、キャニオニング、パラグライダーなどのアウトドア・アクティビティが各地で体験できます。また、マウンテンバイクをレンタルして、山の湖や花の咲く草原をサイクリングすることも楽しいです。岩盤から温泉が湧き出る場所には、温泉浴もあります。

次回は、ドイツ人が海に行く様子をご紹介します。それまで皆さん、良い夏を!